

12月の様子

師匠も駆け回るほど忙しい師走、「年末の行事をともに楽しむ」というのが今月の目標。年末といえば大掃除・クリスマス忘年会・餅つきが三大イベントです。

12月に入るとオーナメントやツリーを利用者さんと一緒に飾り、気分を演出。徐々に掃除も始めていきます。

クリスマス会には毎年ご家族を呼んでいます。今年度は参加ご家族6名。「吾も紅の1年」をスライドにして皆さんに見ていただきました。お隣の井谷先生夫妻もお招きし、朝から利用者さんとお寿司づくりに大忙しです。やがてチラホラお客様が集まり大勢で食卓を囲み、サイダーやビール（ノンアルコール・アルコール入り）で乾杯。乾杯の音頭は95歳の最年長・Nさんが務めてくださいました。「皆さん、来年も健康に気を付けてにぎやかにやりましょう！」

この日はバイキング方式。目の前に置かれたごちそうの大皿に皆さん次々と箸が伸び、普段小食のMさんもたくさん食べられ娘さんが驚いています。Uさんは大好きな柿を食事が終わるまで食べ続け、ついに奥様に止められていました。

食事が終わるとみんなで片付け、午後からはお楽しみ会です。ボランティアでピアノとハーモニカの先生が来てくださり、皆さん曲に合わせて唱歌から流行歌まで楽しく歌いました。お次はサンタガール（今年は少し高年齢）の踊りで本物のサンタがプレゼントを持って登場…するはずが、職員の後ろから現れたひげを付けたUさんが職員サンタよりもリアルで場は騒然。すっかりお株を奪ってしまいました。

しかしながらUさん、先ほどの柿でおなか膨れたのかコメントを求められても無言。「日本語がわからなかった」ということに。

お決まりのビンゴゲームで当たった人から新年の抱負を述べ、職員が選んだ靴下やハンカチのプレゼントを受け取ります。クッキーは職員U君が作り、ラッピングはSさん担当。添えられたカードはFさんの発案で皆さんに刺しゅうしてもらって作りました。そこに担当者が心を込めてメッセージを書きます。それを読んで皆さん自然に笑顔がこぼれます。

最後の人プレゼントを受け取るとゲームは終了。最後に紅茶とケーキを食べながら感想を語り合い、なごやかな空気が流れます。

今年のお餅つきは27日。利用者家族であるTさん兄妹、Sさん夫妻がボランティアで参加してくださり、朝早くからかまどに火をくべ、うすを温め大忙し。事務のNさんや他事業所のN君も助っ人で来てくれました。近所のI先生夫婦もお孫さんを連れ見物に。そして今回、近所のひかり保育園から可愛いお客さんが来てくれました！バスから降りてくる子供たちを見るだけでお年寄りは大喜び。握手を求める者、ひぎに抱きかかえる者、顔をくしゃくしゃにして園児を迎えていました。かわいい声援を受けてつき手も張り切ります。職員をはじめ95歳のNさん、幼稚園の先生、はたまた通りすがりの訪問歯科協会の方も

餅つきをして「いい経験をさせてもらいました」と言われていました。園児たちもちろん餅をついて、できたてのあんころ餅を皆でほおばります。ご近所におすそ分けの餅を配って終了。体も心もポカポカになった、楽しい餅つきでした。

(永和 里佳子)

